



Salone del Mobile.Milano Fiera Milano, RHO HALL 5 D-10

2023年のリッツウェルは、新商品を6アイテム発表いたします。

リッツウェルは2023年4月18日～4月23日にイタリア・ミラノで開催されるミラノサローネ国際家具見本市に出展します。2008年の初出展から今年で13回目を数え、2022年同様、世界を代表するラグジュアリーブランドがひしめくデザインホール5への出展となります。

2008年から世界最大規模の家具見本市「ミラノサローネ」へ出展を続けるRitzwell。30周年を迎えた2022年には糸島シーサイドファクトリーの職人が現地へ赴き、30周年記念モデルの手縫いを披露しました。Ritzwellが目指す「作り手と使い手が長い時間をかけて一つになっていくモノ作り」の姿勢は日本にとどまらず世界へと広がり多くの来場者を魅了。

"30th Anniversary Limited Edition"はその後「HAND STITCH」として商品化し、同年10月に発売するに至りました。13回目の出展となるミラノサローネ2023は、過去最多の新商品6アイテムを発表。その中の1つ「GQ SIDE TABLE」は、昨年同様、職人の手縫いデモンストレーションが披露されます。

GQ SIDE TABLE | 糸島シーサイドファクトリーの職人たちによる手縫いを披露



今年の新商品は、スチール×厚革の素材使いを主軸に、ちょっとしたクラシック要素やモダンなスタイリッシュさ、少しの遊び心、手仕事の妙、などを要素に構成されています。

GQサイドテーブルは、何とも愛らしい雰囲気をもとめた小ぶりなサイドテーブルです。構造は、スチールパイプを丸めたベース部と無垢材削り出しの天板を少し傾いた支柱で繋げています。肌に触れるスチール部には厚革を巻いており、これは職人による手縫い仕上げ。一針一針縫いあげたそのディテールは、上質さと人の手による温かさを感じさせます。また、カンティレバー（片持ち）構造により、ソファやラウンジチェアの座面に近づけて使うことができ、軽く持ち上げて移動させることも楽しみの一つです。



MERCURY LOUNGE CHAIR マーキュリー

壁から伸びる庇のような背の形状を細径のステンレス脚で支える後姿が、モダンな回廊建築を思わせるラウンジチェア。傾斜した背板と後脚の間に生まれる空間がデザインに心地よい余白を生み出し、キラリと光る後脚が陰影の美しい背裏の表情を際立たせながら、軽快さの中に仄かな色気を漂わせています。



VERSE LOUNGE CHAIR ヴァース

人気のライトフィールドシリーズと同様の厚革シェルを採用した木製のラウンジチェア。厚革ならではの背のシャープさ、木部フレームの重厚感、やや緊張感の漂う背座のフォルムが生み出す風格あるその佇まいは、高い天井や広い面積を持つダイナミックな空間でこそ、存分に存在感を発揮します。



GQ SIDE TABLE ジークュー

異素材からなる、カンティレバータイプのサイドテーブル。小ぶりで軽く、持ち運びも容易にでき、様々なシーンに合わせられます。細径のステンレスフレームのシンプルな構造がモダンな印象を与える一方で、薄いフラットバーをカットした装飾的な曲線のリブがクラシカルな雰囲気を醸し出しています。



MO BRIDGE COUNTER STOOL エムオーブリッジ

丸みのあるエッジラインと、厚革が生み出す豊かな表情が魅力のMO BRIDGEシリーズに、待望のカウンタースツールが登場。ていねいに削り出した木材を組み上げたフレームに厚革ベルトを編み込んだシンプルな構造。上質な素材使いがその古典的な美しいフォルムを引き立て、素朴で温かみのあるデザインに仕上がっています。



RIVAGE ARMCHAIR リヴァージュ

2019年に発売したステンレススチールフレームのラウンジチェアに続き、アームチェアが登場。フレームに木部と異素材を組み合わせることで、心地よい緊張感と軽快さを表現しました。



MTM TABLE DINING TABLE エムティーエム

贅沢な素材感と上質な存在感が魅力のMTテーブルに、大き目のダイニングテーブルが登場しました。テーブルサイズは、ゆったりと12人掛けができる最大サイズのW4400タイプを含む4種類。

DESIGNER | SHINSAKU MIYAMOTO

今回も HALL 5 と 7 の間を通るメインストリート沿いにブースを構え、クリエイティブディレクター宮本晋作とイタリアのクリエイターチームによる、リッツウェル独特の世界観を表現します。



代表取締役 兼クリエイティブディレクター
宮本 晋作

国内、イタリアの家具メーカー勤務を経て現在に至る。同社チーフデザイナーとしてプロダクト、グラフィック、インテリアのアートディレクションを手掛ける。これまでに数多くの商品をミラノサローネで発表。

1978 年福岡生まれ 九州産業大学建築学科卒業後、飛騨高山にて家具の製作に携わる。25 歳で単身渡伊。イタリアのクラシック家具を製作する工房にて修行し、帰国後、独学で家具のデザインを始める。2005 年リッツウェルに入社しデザイナーとして活動する中、2018 年に代表取締役兼クリエイティブディレクターに就任。2017 年以降、「iF design award」、「German Design Award」、「red dot design award」、「Archiproducts Design Award」など数々の世界的なデザイン賞を受賞。2019 年には 細やかに連続する日本の直線美をイメージさせる『蛇腹戸』を採用した「JABARA AV BOARD」において、「red dot design award」のプロダクト部門最優秀賞にあたる「Best of the Best」を受賞している。



Ritzwell



ritzwell.com

1992 年、福岡で創業した「リッツウェル」。
創業時から世界を見据え、ミラノサローネ出展など積極的に海外活動を展開。その上質なデザインと日本ならではの繊細な手仕事により生み出される製品は、ドイツ iF デザイン賞、RED DOT 賞をはじめ、世界的に権威のあるデザインアワードの数々を受賞。また、海外のプロユーザーからの評価も高く、国内外のラグジュアリーホテルやリゾート、レジデンスなど、数多くの納品実績を持つ。

本社所在地：812-0888 福岡県福岡市博多区板付 5-2-9

【本リリースに関するお問合せ先】

※取材のお申込み、商品画像の使用についてもこちらにお問合せください

■株式会社リッツウェル 東京支店

〒107-0062 東京都港区南青山 2-13-7 マトリスビル 3F

TEL：03-5772-3460 FAX：03-5772-3461

担当窓口

広報担当 若山良子 mail: wakayama@ritzwell.com



PRESS